

VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	とくていひえいりかつどうほうじん えんげきくらぶ ざ 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』		
代表者職・氏名	理事 壤 晴彦 (松本 敬通)		
制作団体所在地	〒 160-0022 東京都新宿区新宿5-9-11 アルメリア新宿1F		
電話番号	03-6431-0377	FAX番号	03-6431-0378
ふりがな 公演団体名	とくていひえいりかつどうほうじん えんげきくらぶ ざ 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』		
代表者職・氏名	理事 壤 晴彦 (松本 敬通)		
公演団体所在地	〒 160-0022 東京都新宿区新宿5-9-11 アルメリア新宿1F		
制作団体 設立年月	1998年 10月		
制作団体組織	役職員 理事:壤晴彦・林千永・鶴賀若狭掾・浜畑賢吉・塚本悟・大田創・加藤正信・井上桂・岡田俊彦・岡田雅之・西川啓光・小森康充・森一馬 監事:関聡太郎	団体構成員及び加入条件等 正会員 13名(法人の目的に賛同し、事業に積極的に関わる個人・団体。加入条件:なし・入会書提出) 演技研究生 5名/俳優 34名 (加入条件:オーディションにより選抜)	
事務体制の担当	他の業務と兼任	本事業担当者名	堅田 浩巳
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	相澤 まどか

制作団体沿革	劇団四季正劇団員を経て蜷川幸雄作品海外公演の中心メンバーとなった演出家／俳優・壤晴彦の呼び掛けで1992年、「日本の俳優たちよ、日本を学ぼう」を合言葉にスタートした「和の演劇塾」・演劇研究室『座』は、1998年に「演劇倶楽部『座』」と名称を改め劇団として活動をはじめた。 人間国宝・鶴賀若狭掾(新内)をはじめとする最前線講師の指導により我が国伝統の話芸や舞踊・殺陣などの技術を習得した俳優たちと、和洋の楽器奏者たちの生演奏による舞台の定期公演は、日本の「美しいことばと姿と音楽」を堪能できる演劇として好評を博している。 【これまでの作品】 上田秋成・泉鏡花・森鷗外・伊藤左千夫・太宰治・芥川龍之介・夏目漱石・樋口一葉・宮沢賢治・中勘助・江戸川乱歩・川口松太郎・山本周五郎などの代表作を舞台化。 各作家の文体の「美しさ」「力感」「香り」を活かすため、『脚色』を行わず、小説の『原文』通りの上演・「地の文」は語り手が「台詞」は役者が担当する、謂わば「現代の浄瑠璃芝居」である。 観劇時の違和感は全く無く「日本語の美しさを再認識した」という声が圧倒的に多い。 【ワークショップ】 「日本人の身体に適した『丹田発声法』『美しい日本語の為の『発音法』』その他の生涯ワークショップを随時開催し、終了後アンケートは受講者の高い満足度を示している。 ＊演劇倶楽部『座』は「文化芸術による子供育成総合事業」の参加歴はなく、今回がA区分初エントリーである。			
学校等における公演実績	○2000年『りゅうの目のなみだ』(気仙沼市立新月中学校) ○2004年『賢治アラベスク』(筑波大学附属高校) ○2006年『鶴八鶴次郎』(法政大学) ○2008年『野菊の墓』(西武文理学園中等部) ○2021年『野菊の墓』(愛媛県立松山北高等学校)			
特別支援学校における公演実績	なし			
参考資料の有無	A	申請する演目のチラシパンフレット等	無	
		申請する演目のDVDまたはWEB公開資料	有	
		※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/5uMnYXHAzqc	
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		
	Aの提出が困難な場合	今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料		
		※公開資料有の場合URL		
		※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID:	
		PW:		

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』 】

対象	○	小学生(低学年)	○	中学生		
	○	小学生(中学年)				
	○	小学生(高学年)				
企画名	邦楽器・生演奏とのコラボで観る『浜田広介童話集』					
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	作:浜田広介 動物三部作 「ある島のきつね」「泣いた赤おに」「りゅうの目のなみだ」 構成・演出:壤 晴彦 振付:林 千永(日本舞踊林流千永派家元) 音楽・生演奏:木村 俊介(三味線・笛・太鼓・琴・等) 公演時間(60 分)					
著作権		制作団体が所有	○	制作団体以外が所有する事項が含まれる	取得予定	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合) 許諾状況
演目概要	「動物三部作」の主人公は人間ではありません。「きつね」と「おに」と「りゅう」です。 「きつね」は、人間に好意的に接し、 「赤おに」は鬼が人間に嫌われていることを知りながら、人間と友達になりたいと思い、 「りゅう」は何も害をしない自分を悪者にする人間を深く恨み、山奥に篃っています。 作品ごとに「差別」の重さ・深さが異なりますが、全ての物語に作者の「愛」が注がれ、それぞれ印象的な「結末」に至る素晴らしい作品集です。 浜田広介の香り高い原文の全てをそのままに、「語り」のあるお芝居として、美しい邦楽生演奏と舞踊を織り交ぜて楽しんでいただけます。 現代の子供たちに是非見て欲しい作品です。					
演目選択理由	古来、日本人の心情の際立った特徴は「弱いものへのいたわり」と言ってよいでしょう。 浜田広介作の『動物三部作』は、人間ではない「生きもの」たちを主人公に、世の中の「差別問題」を分かりやすく説いた「傑作」です。 現代・社会や組織、そして学校などでの「差別」や「いじめ」は看過できない社会問題であり、幼少年期にこの作品に触れて心震える体験は、必ずや子供たちの心に「思いやり」「優しさ」「いたわり」という『他者への理解と寛容』と『自省心』を根付かせるものと信じます。					
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	三部作中の二作品『泣いた赤おに』『りゅうの目のなみだ』に登場する「村人」「町の人」に、それぞれ3人ずつ、生徒さんに参加してセリフを喋ってもらいます。 また『りゅうの目のなみだ』中、少年がりゅうに呼びかける声の「こだま」、そして、少年がりゅうの変身した大きな船に乗って町に還ってくる最終シーンの「驚き・喜びの声」は客席の生徒さん全員の協力をいただいて幕を下ろしたいと思えます。					
出演者	俳優13名 壤晴彦・鈴木慎平・森一馬・平居正行・奥村雄一・土屋太司・金子三輪郎・久瀬秋一・中庭鳳志・河原崎貴光 景山仁美・相澤まどか・上路りさ 生演奏(三味線・笛・太鼓等)1名 木村俊介					
公演出演予定者数 (1公演あたり)	出演者: 14 名 スタッフ: 7 名 合 計: 21 名		機材等 運搬方法		積載量: 4 t 車 長: 7.6 m 台 数: 1 台	

【公演団体名 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	有	会場設営の所要時間		6	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時	8時～13時 (リハーサル含む)	14時～15時	0分	15時～17時	17時
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	300名程度まで				
	本公演	300名程度 ※会場条件によってそれ以上でも可。				
ワークショップ 実施形態及び内容	私どもの劇団は「美しい日本語を語る」ことを大切に考えておりますので、上演する劇中のセリフを使いながら「からだ全体を使って声を出す」「分かりやすい発音」「意味を正しく伝える方法」をゲーム形式で練習します。 (いくつかに分けたグループにそれぞれ助手をつけて丁寧な指導を行います。) 劇に参加する生徒さんは、ワークショップへの参加態度・成果を踏まえた上で、先生方とご相談して選んでいただきます。 危険回避のため、スタッフワークへの生徒さんの参加は考えておりません。					
ワークショップ 実施形態の意図	FBの評価欄(クチコミ)で常にトップランクのワークショップを子供たち向けに。 ことばを「正しく喋ろう」「分かりやすく喋ろう」「美しく喋ろう」と言うだけでは、子供たちはどうしてよいか分かりません。 身体や喉に力を入れたり口を大きく開いたりするのではなく、「身体全体を使った楽な呼吸と発声」をし、「文中の最重要な単語(イントネーションアクセント)」を見つけ、「ニュアンス」を込めて語る…この方法を分かりやすく説明し、一緒に試してみて、『ことばを扱う基本』を身につけて貰いたいと思っております。					
特別支援学校での 実施における工夫点	本番について生徒さんの参加が不可能であれば、ぜひ先生方の参加をお願いいたします。 ワークショップについても、先生方との事前の打ち合わせをさせていただき、内容の検討を行いたいと思います。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先

No.2

【公演団体名 特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』】

【各話あらすじ】

*ある島のきつね

ある島のお寺の裏山に住むきつねが、いつものようにお寺に遊びに来ますと、目と耳の不自由なお婆さんがやって来て、きつねを和尚さんと思い込み、「お爺さんの命日なのでお経をあげて下さい」と頼むのです。

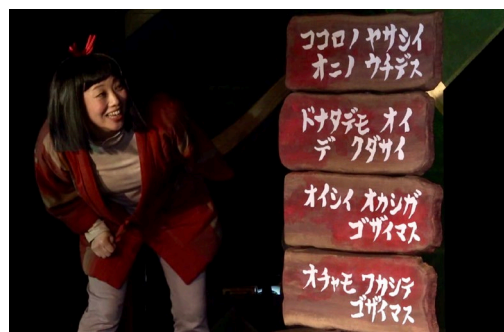
和尚さんは留守なので、きつねは仕方なく和尚さんの袈裟を借りて身に纏い、木魚を打ちながら「コンコン」とお経の真似事をしてあげます。そしてお婆さんを玄関まで送った後、お布施には目もくれず、仏壇の前に供えてあったお饅頭をくわえて山に帰っていくのです。



*泣いた赤おに

人間と友達になりたいと思っている赤おにが、家の前に立て札を立てます。「心の優しいおにの家です。どうぞ遊びに来てください」この立て札を見た木こりが仲間を連れてこわごわ覗きに來ますが、「騙して食うつもりじゃないか」なんて話し合っているの、赤おにが思わず顔を出すと2人は逃げてしまいます。

がっかりした赤おにのところに、遠い山から雲に乗って友達の青おにが訪ねて來ます。話を聞いた青おにには赤おにのためにある計画を立てます。「自分が村で乱暴をするから、君が僕をやっつけるんだ。そうすればみんなは君を『良いおに』だと思うだろう」。赤おにには気が進みませんが、青おにに説得されてその計画に乗ってしまいます。結果、村の人たちと仲良くなって楽しく日々を送りますが、それ以来姿を見せない青おにのことが気になり、ある日彼の家を訪ねますと・・・。



*りゅうの目のなみだ

ある村の向こうの山奥に「りゅう」が住んでいるという噂があり、人々はりゅうを恐れていました。その村に変わった子供がいて、りゅうを怖がらず進んでりゅうの話を聞きたがるのです。この子のこと人々の噂になりました。お母さんが心配して嗜めても、その子は「りゅうがかわいそう」

「僕の誕生日にりゅうを呼びたい」

などと言い出し、お母さんに叱られます。

ある日その子は決心して、一人でりゅうに会うために山に入っていきます。

子供が一人で山奥に來たことを訝るりゅうですが、「僕の誕生日に來て欲しい」「誰かが意地悪したら僕が守ってあげる」という言葉に固く閉ざされた心が解けて・・・。



演目概要

認定NPO法人

演劇倶楽部座



泣いた赤おに

ある島のきつね

りゆうの目のなみだ

浜田広介
童話集

和楽器の生演奏と、
演劇のコラボで贈る

「やさしさについて」の物語。



ID	D54	分野	演劇	種目	演劇	ブロック	D	区分	A区分
公演団体名	特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』				制作団体名	特定非営利活動法人 演劇倶楽部『座』			

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数 *	2室	条件	男性・女性の着替え用のため、別室を希望しますが、足りない場合はパテーション等があれば同室(1室)でも可				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数 *			4tトラック	1台			可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			学校周辺の道路状況により4tトラックの進入が出来ない場合のみ、4tトラックを2t×2台等に変更可能。					
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			4tトラック(幅2.5m、長さ8m、高さ3.4m)					
	搬入車両の横づけの要否 *			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離 *			問わない				可	
	搬入経路の最低条件			・できる限り階段のない経路が望ましい。 ・屋根のある経路が望ましい。				可	
	理由			・パネルや平台等の大道具や、音響・照明機材の搬入をするため ・雨天の場合、機材が濡れないようにするため(いずれも対応について相談可能です)					
	設置階の制限 *			エレベーターの設置等があれば2階以上も可					
	搬入間口について 単位:メートル		幅	1.5m	高さ	1.8m		可	
WSについて	参加可能人数		300名程度					可	
	学年の指定の有無 *	なし	指定学年 *	小学生	中学生		可		
	所要時間の目安 単位:分	90分程度					可		
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。					
	鑑賞可能人数			300名程度(会場の広さによってはそれ以上でも可)					可
	舞台設置場所 *			フロア				不可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル		幅	12m (8m)	奥行	7m (5m)	高さ	指定なし	可
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保 *			不要				—
		舞台袖スペースの条件 *			特になし(舞台袖は使用しません)				可
		緞帳 *	不要		バトン *	不要		—	
	遮光(暗幕等)の要否 *			要	理由	舞台の照明効果を高めるため			不可
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動 *		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。				—
		ピアノの事前調律 *		不要				—	
	フロアを使用する場合の条件		バスケットゴールの設置状況 *		格納されていれば可				可
	公演に必要な電源容量			75A	※主幹電源の必要容量				可
	その他特記事項								応相談
緞帳について、公演には使用しませんが、設置舞台の後ろに体育館舞台がある場合、上演中は閉めた状態を希望します。								可	

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	1.5m	高さ	1.8m
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		問わない		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

